

教えてマツタマン!

～第7回 ごみを減らすためにできること～

問合先 環境課ごみ減量推進係 ☎0562-92-1113



太郎君：マツタマン、僕なりにごみを減らす方法を考えてみたよ。

マツタマン：太郎君はごみについていろいろと勉強しているね。太郎君が考えたのはどんな方法かな？

太郎君：まず一つ目は、生ごみを減らすこと。食品ロスをなくするのはもちろん、生ごみ堆肥化促進容器を使えば生ごみを堆肥にできるよ。

マツタマン：生ごみ堆肥化促進容器は、購入費の補助制度もあるからね！

生ごみ堆肥化促進容器等購入費補助制度

補助の対象	補助金額	申請方法
生ごみ堆肥化促進容器 (コンポスト型) 1基まで	購入金額の2分の1の額 (上限 3,000円)	購入した領収書(レシート不可)、 印かん(シャチハタ不可)、振込 口座の分かるものをお持ちの上、 環境課までお越しください。
生ごみ堆肥化促進容器 (バケツ型) 2個まで	購入金額の2分の1の額 (上限 1個につき1,000円)	

※補助金額は、100円未満切捨

太郎君：もう一つは、ごみ袋の中に資源を一緒に入れないこと。資源を燃えるごみや燃えないごみとして出しちゃうことは多いと思うんだ。封筒とかコピー用紙とかね。

マツタマン：そうだね、資源を分けて出すだけでもごみの量は大きく減るよね。資源といえば、スプレー缶が燃えないごみに混入されていることがあって、とても危険だってことも忘れちゃいけないよ。

太郎君：パッカー車の火災に繋がるんだよね？前にマツタマンに教えてもらったから覚えているよ。「燃えない」ごみが火災の原因になるって不思議な感じだね。

マツタマン：燃えないごみも燃えるごみと同じようにパッカー車で回収しているからね。回収したごみを巻き込んで圧縮する過程で、スプレー缶などが爆発して火災の原因になることは多いんだよ。

太郎君：スプレー缶は資源に出す。燃えないごみ、燃えるごみと一緒に捨てない。気をつけないとね。

マツタマン：ごみの減量化について最後に僕からも案内があります。市から環境審議会へ「ごみ減量化に向けて今後の取り組むべき施策について」諮問していましたが、5月14日付けで答申がありました。

太郎君：なるほど。その内容もふまえて、僕もごみの減量化に取り組むよ。

ごみ減量化に向けて今後取り組むべき施策について(答申)の内容は、次の通りです。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 市民、事業者、行政の協働 | 2 市民へのより効果的な啓発の実施 |
| 3 食品ロスの削減 | 4 資源回収品目の徹底など |
| 5 事業系ごみの適正処理 | 6 生ごみ、草木の減量化と資源化 |
| 7 ごみ処理手数料の有料化の検討 | |

答申の詳細は、環境課ホームページにてご覧ください。